

われていくことを期待したい。

iGrid2000に関する詳しい情報は、下記のホームページで得ることができる。

<http://www.isoc.org/inet2000/igrid.shtml>

<http://www.startap.net/igrid2000/>



CAVE を用いたデモンストレーションの様子

## ◆ SIGGRAPH2000 報告

長谷川晶一

東京工業大学

(Newsletter Vol. 5, No.8 より転載)

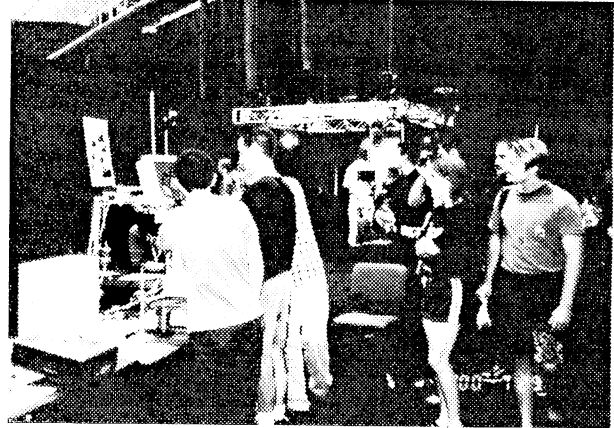
今年も ACM Computer Graphics の年次大会 SIGGRAPH が行われた。今年はいリジアナ州ニューオリンズにて、例年より少し早い7月23日から28日までの会期で行われた。この期間に、コース (Courses)、口頭発表 (Papers, Panels, Sketches & Applications)、技術系のデモ展示 (Emerging Technologies)、芸術作品の展示 (Art Gallery)、Computer Graphics Animation の上映 (Electronic Theater, Animation Theaters)、企業の展示 (Exhibition)、その他の Special Session などが行われた。筆者は Emerging Technologies に出展していた。

### Emerging Technologies

技術系展示は名称が毎年変わるが、今年も Emerging Technologies の名で行われた。毎年日本からの出展が多い技術系展示だが、今回は ATR が5件出展していたこともあり、26件中11件が日本からの出展だった。メガネなしステレオ視ディスプレイが4種あったことが印象に残っている。また画像処理が気軽に使える技術になったことを実感させられた。Mixed Reality 技術を用いた展示、実世界指向インタフェイスが増えてきたことも印象に残った。

### Art Gallery

今年も E-Tech の隣で行われていた。大学の作品など技術的なサポートを活用したものもあったが、個人での出展も多かった。



展示終了後の Emerging Technologies 会場の様子。展示が終わり、まわりが明るくなっても見学者が絶えない。

### Session

例年にも増して広いホールで、さまざまなセッションが行われた。筆者は、Animation、Light Fields、Interactive Techniques を聞いたが、従来提案された手法が十分に実装、検討されることで各手法の可能性と限界が見えてきたように思えた。

### Exhibition

毎度おなじみのモーションキャプチャーが一堂に会していたこと、Sensible が PHANTOM のハイエンド版をまったく展示せず FreeForm 一本に絞った展示をしていたこと、nVIDIA が会場だけでなくニューオリンズの町じゅうに広告を出していたことなどが印象に残った。

### ニューオリンズについて

観光地であり、ケイジャンとクレオールのご伝統料理があり食べ物に困らない町だった。繁華街の中心は、毎晩3時ごろまでにぎわっていたようだ。蒸し暑い町だが東京ほどではなかった。

## ◆ ISAR2000 参加報告

加藤博一

広島市立大学

(Newsletter Vol. 5, No. 10 より転載)

98、99年と workshop として開催されたこの会議も参加